

## 「最近の機械貿易動向(10月)～機械輸出伸び率9ヶ月連続プラス～」

日本機械輸出組合 2017.12.22.

平成29年10月の機械輸出額は4兆3,052億円、対前年同月比11.4%増と、9ヶ月連続でプラスとなった。これは、①6地域向けが全てプラス成長となったこと、②自動車をはじめ、主要な20輸出業種がプラスとなったことなどによる。為替・営業日要因が11.3%の増加寄与要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は0.1%増となった。平成29年11月の為替・営業日要因は5.1%の増加寄与要因となっているが、12月18日発表の貿易統計速報による簡易計算では11月の機械輸出は14.7%増であった。

### I 要約

#### 1. 全商品貿易動向(図表1)

- ① 全商品輸出額:6兆6,936億円(前年同月比[以下同じ]14.0%増、11ヶ月連続プラス)
- ② 全商品輸入額:6兆4,090億円(18.9%増、10ヶ月連続プラス)
- ③ 貿易収支:2,846億円、5ヶ月連続の黒字

#### 2. 機械貿易動向

##### (1) 機械輸出入動向(図表2)

- ① 機械輸出額:4兆3,052億円(11.4%増、9ヶ月連続プラス)  
為替・営業日要因を除いた実質的伸び率:0.1%増(13ヶ月連続プラス)
- ② 機械輸入額:2兆1,391億円(12.3%増、8ヶ月連続プラス)

##### (2) 為替・営業日動向

10月に11.3%、11月に5.1%、12月に6.2%の増加要因となる。

##### (3) 地域別動向

- ① 4ヶ月連続 6地域向け全てでプラス(図表4、5)
- ② 北米向け:3.8%増、9ヶ月連続プラス(図表4、5)
- ③ 中国向け:21.8%増、12ヶ月連続プラス(図表4、5)
- ④ ASEAN・南アジア向け:16.0%増、11ヶ月連続プラス(図表4、5、6、8、9)
- ⑤ EU向け:14.2%増、9ヶ月連続プラス(図表4、5)
- ⑥ 韓国・台湾向け:7.9%増、15ヶ月連続プラス(図表4、5、6、7)
- ⑦ その他地域向け:6.6%増、4ヶ月連続プラス(図表4、5、10)

##### (4) 業種別動向(図表11)

上位21業種中 20業種がプラス。そのうち15業種が二桁の伸び

##### (5) 機種別動向(図表12、13)

- ① 通信機械部分品(中国、ASEAN・南アジア向け中心、4ヶ月連続輸出伸び率上位機種)、電池(中国向け中心、5ヶ月連続上位)、建設機械(北米、その他地域、EU向け中心)等が大きくプラス
- ② 産業用ロボット(中国、北米、EU向け中心、9ヶ月連続輸出伸び率上位機種)等も好調に輸出が継続
- ③ 発電機と原動力機械が大きくマイナス

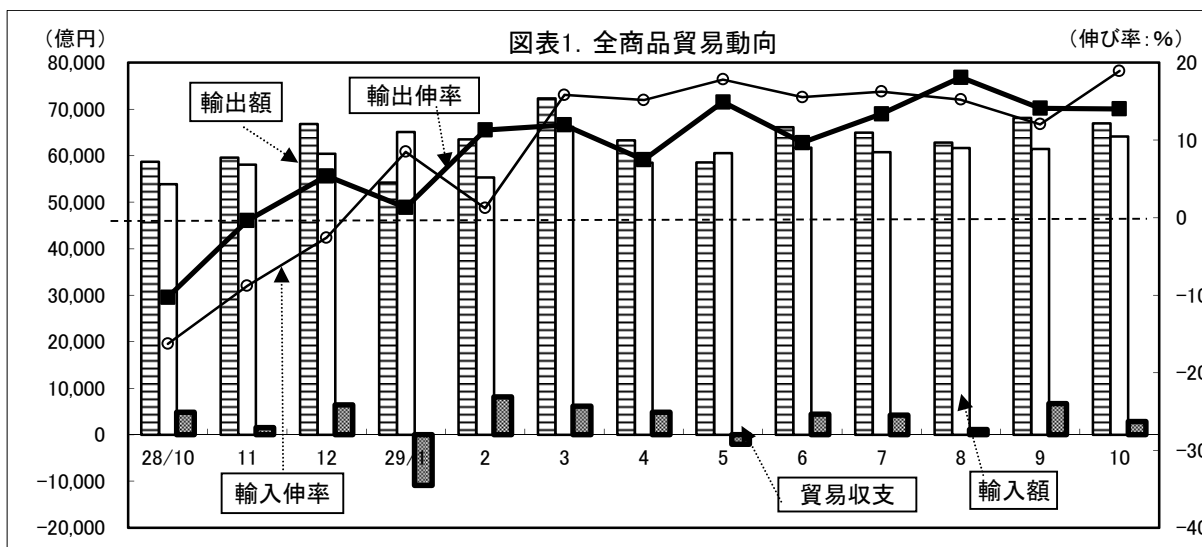
##### (6) 機械輸入動向(図表14)

- ① 機械輸入額上位12機種のうち、11機種がプラス
- ② そのうち携帯電話、電子デバイス、電子計算機をはじめ、7機種が二桁のプラス

## II 個別動向

### 1. 全商品貿易動向～輸出は11ヶ月連続プラス、輸入も10ヶ月連続でプラス～

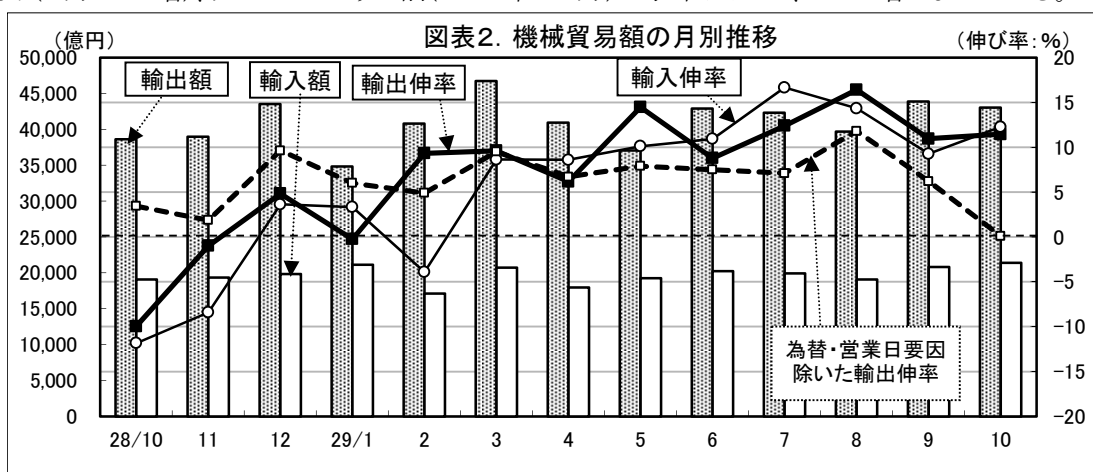
- 1) 平成29年10月の全商品輸出額は**6兆6,936億円**、前年同月比(以下同じ)**14.0%増**と11ヶ月連続でプラスとなった(9月14.1%増)。これは、全輸出額の約20%を占める一般機械(17.8%増)をはじめ、約18%を占める電気機器(11.4%増)、鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(15.2%増)、プラスチック等化学製品(23.4%増)等がプラスとなったためである。
- 2) 輸入額は**6兆4,090億円**、**18.9%増**と10ヶ月連続でプラスとなった(9月12.1%増)。これは、全輸入額の約19%を占める原粗油等鉱物性燃料(37.6%増)が10ヶ月連続でプラスとなったことに加え、原料別製品(17.1%増)、電気機器(15.0%増)等がプラスとなったことによる。
- 3) この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、2,846億円と5ヶ月連続の黒字となった。(9月は6,677億円の黒字)。



### 2. 機械貿易動向

#### (1) 機械輸出入動向～輸出は9ヶ月連続、輸入も8ヶ月連続でプラス～

- 1) 全商品輸出額の約64%を占める10月の機械輸出額は**4兆3,052億円**、**11.4%増**と9ヶ月連続でプラスとなり(9月10.9%増)、その水準は、リーマンショック前(2007年10月)と比べると**83.5%**となって、前月に比べて3.9ポイント悪化した(9月87.4%)。なお、為替・営業日要因を除いた**実質的伸び率は0.1%増**であった。
- 2) 一方、全商品輸入額の約33%を占める機械輸入額は、**2兆1,391億円**、**12.3%増**と8ヶ月連続でプラスとなり(9月9.3%増)、リーマンショック前(2007年10月)の水準に比べ、20.5%増となっている。

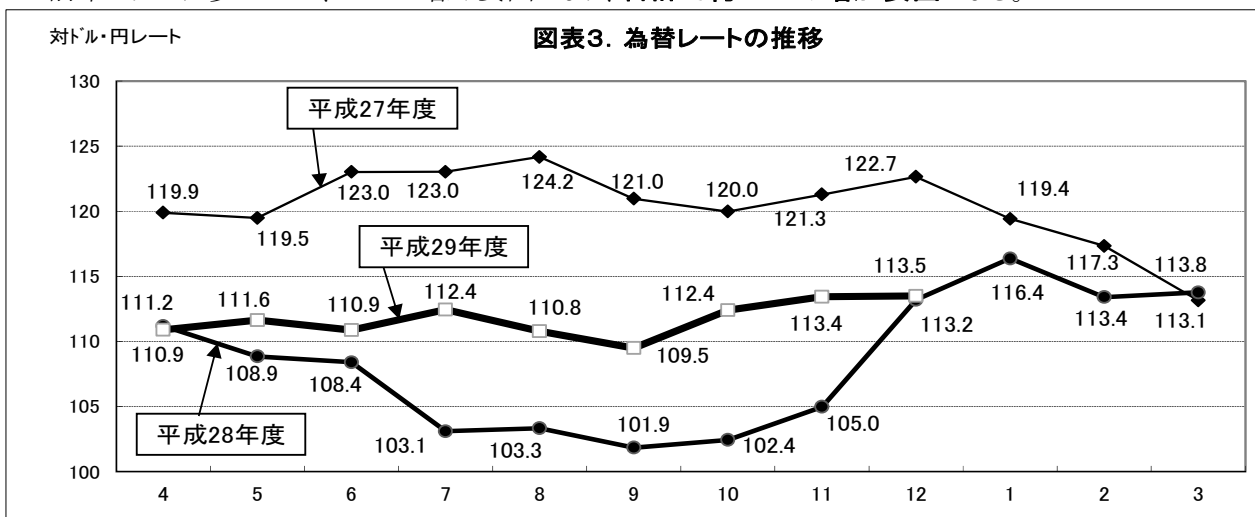


(2) 為替・営業日動向～10月は11.3%の増加要因、11月は5.1%の増加要因～

1) 2017年10月は1ドル=112.4円となり、前年に比べ9.8%の円安となった。また、対ユーロは133.0円と前年に対して16.4%の円安となり、合わせて約6.0%の為替増加要因となった。営業日は前年より1日多いため、5.0%の増加要因となり、合計で約11.3%の増加要因となる。10月の輸出額は11.4%増であったことから、実質的伸び率は0.1%増と13ヶ月連続プラスとなった(9月6.2%増)。

2) 2017年11月は1ドル=113.4円で前年比8.0%の円安、対ユーロは132.8円で前年比15.6%の円安となり、合わせて約5.1%の為替増加要因となった。営業日は前年と同じため、合計で約5.1%の増加要因となる。

3) 2017年12月は、対ドルが12月21日17:00時点の113.5円とすれば、前年に比べて0.3%の円安、また、対ユーロは134.8円で11.6%の円安となり、合わせて約0.9%の為替増加要因となる。営業日は前年より1日多いため、5.3%の増加要因となり、合計で約6.2%の増加要因となる。



(3) 地域別動向～4ヶ月連続で6地域向け全てがプラス～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、①全体の24.4%を占める最大輸出先の北米向けでは、全体の約53%を占める自動車(1.0%増)をはじめ、産業機械(4.8%増)、航空機部品(7.9%増)、建設機械(26.7%増)等が増加し、3.8%増となった。②23.0%を占める中国向けでは、産業機械(41.7%増)、自動車(13.0%増)、電子デバイス(7.5%増)、重電気機械(32.4%増)等が増加して21.8%増となり、③14.9%のASEAN・南アジア向けは、インドネシア(34.3%増)、シンガポール(26.4%増)、フィリピン(16.4%増)、インド(13.2%増)等が大きく増加し、業種では、自動車(14.3%増)、産業機械(13.4%増)、電子デバイス(10.3%増)等がプラスとなり、14.3%増となった。④12.4%を占めるEU向けは、約37%を占める自動車(10.6%増)、産業機械(23.3%増)、理化学用機器等軽機械(6.4%増)等がプラスとなって14.2%増となり、⑤10.2%を占める韓国・台湾向けは、産業機械(2.7%減)が減少したものの、電子デバイス(12.1%増)、自動車(16.1%増)等が増加して7.9%増となった。⑥15.2%のその他地域向けでは、中近東(5.9%減)、アフリカ(0.6%減)がマイナスとなったものの、中南米(17.4%増)、ロシア東欧等(12.6%増)向けが二桁のプラスとなり、機種では、産業機械(4.5%減)、船舶(14.0%減)がマイナスとなったものの、約65%を占める自動車(8.5%増)がプラスとなって6.6%増となった。

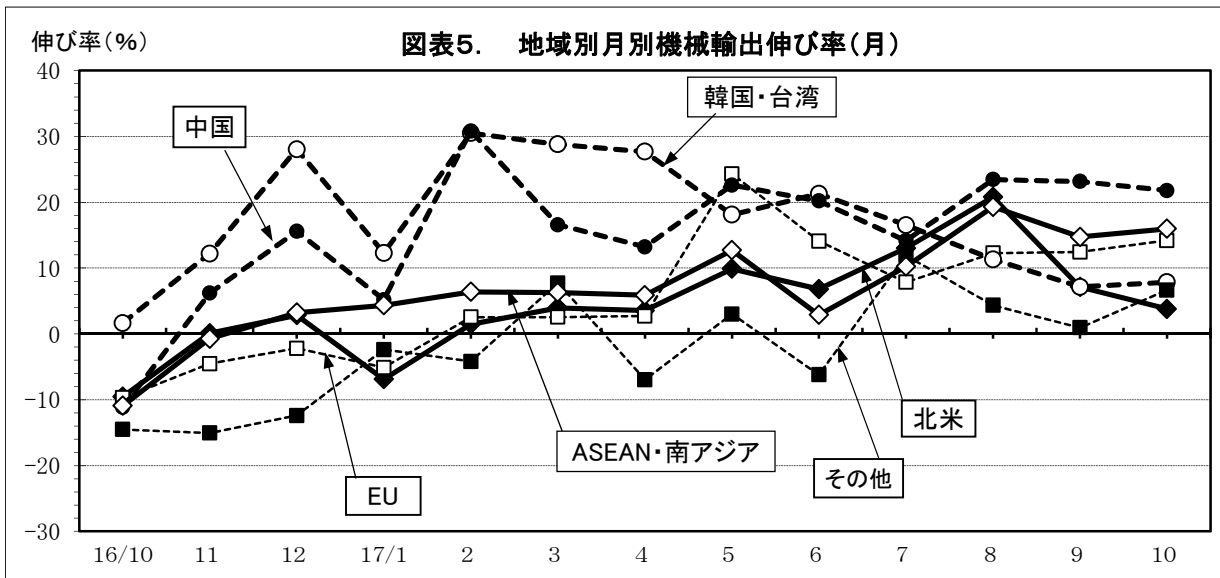
2) また、リーマンショック前の2007年10月の地域別輸出額と比較すると、中国、ASEAN・南アジア向けが100%を超え、韓国・台湾向けが90%台、北米向けが80%台、その他地域、EU向けが60%台となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2017/8			2017/9			2017/10			対07年 10月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	39,693	16.4	100.0	43,884	10.9	100.0	43,052	11.4	100.0	0.84
北米	9,712	20.8	24.5	10,696	7.1	24.4	10,499	3.8	24.4	0.80
中国	9,127	23.5	23.0	9,623	23.2	21.9	9,882	21.8	23.0	1.07
ASEAN・南アジア	6,319	19.3	15.9	6,636	14.7	15.1	6,404	16.0	14.9	1.03
EU	4,561	12.3	11.5	5,321	12.4	12.1	5,327	14.2	12.4	0.62
韓国・台湾	4,262	11.3	10.7	4,551	7.1	10.4	4,377	7.9	10.2	0.96
その他	5,712	4.3	14.4	7,058	0.9	16.1	6,564	6.6	15.2	0.67

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。

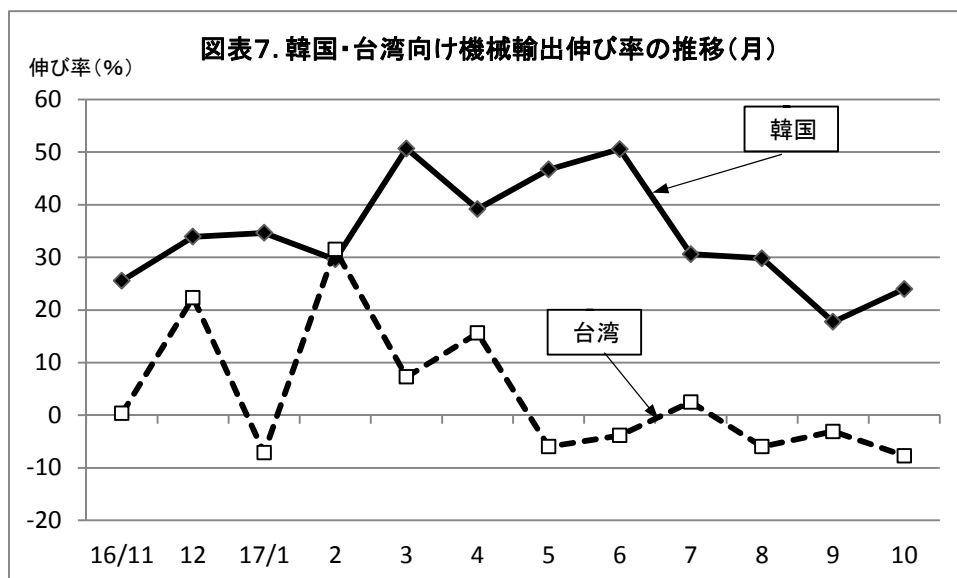


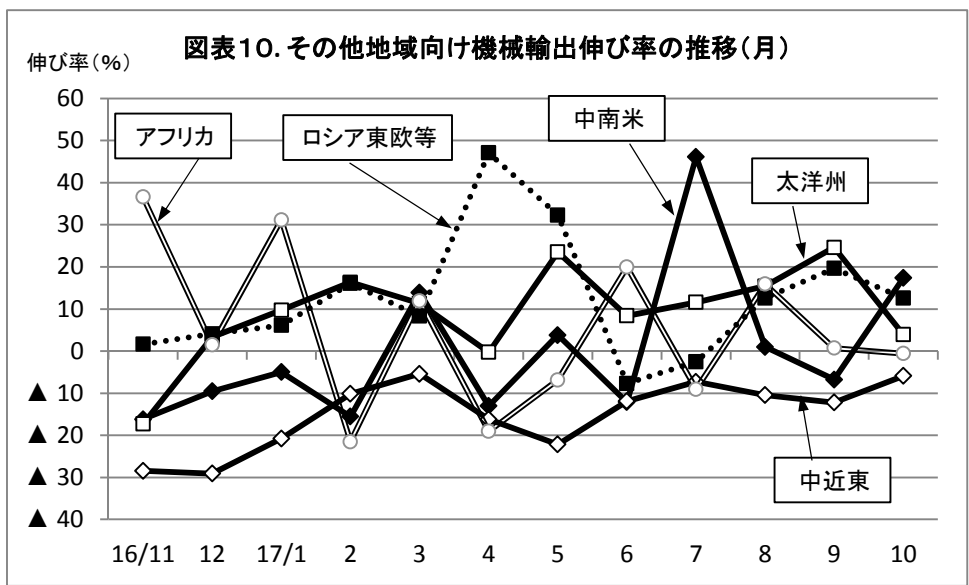
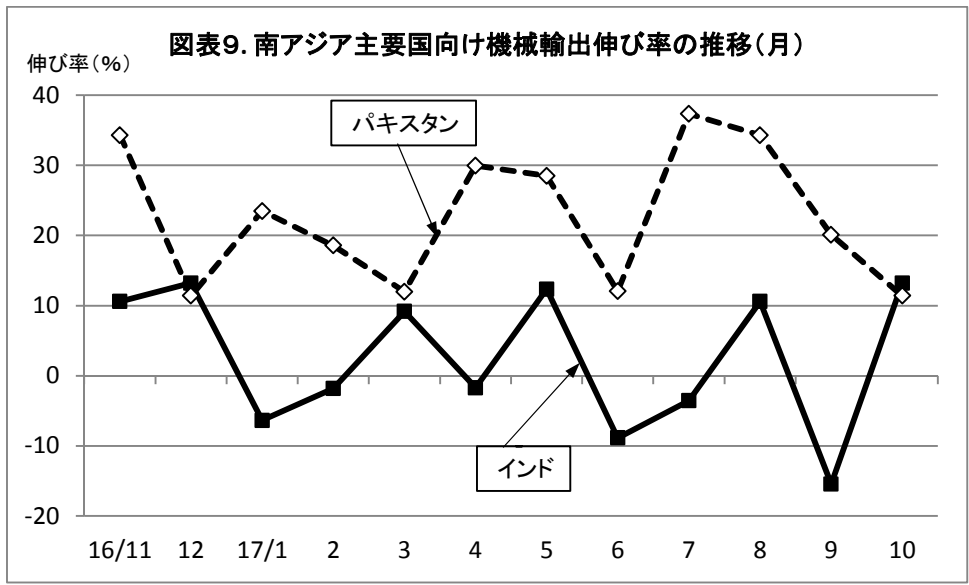
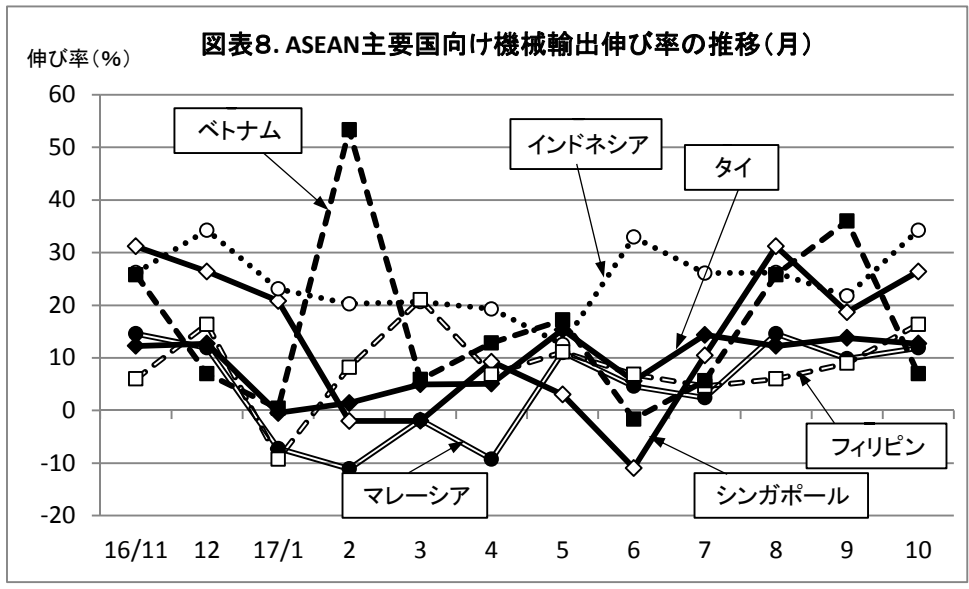
図表6. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位:億円,%)

国名	2017/7		2017/8		2017/9		2017/10	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	2,506	30.6	2,402	29.8	2,457	17.7	2,474	24.0
台湾	1,977	2.5	1,860	▲ 6.0	2,094	▲ 3.1	1,903	▲ 7.7
<b>ASEAN・南アジア</b>								
タイ	1,658	14.3	1,535	12.3	1,742	13.8	1,705	12.7
シンガポール	961	10.4	1,146	31.2	944	18.7	908	26.4
インドネシア	790	26.1	723	26.2	805	21.7	806	34.3
マレーシア	669	2.4	634	14.6	698	9.8	692	11.9
フィリピン	682	4.6	662	6.0	703	9.0	743	16.4
ベトナム	665	5.6	724	25.8	854	36.0	727	7.0
インド	404	▲ 3.6	465	10.6	409	▲ 15.4	419	13.2
パキスタン	170	37.3	171	34.3	187	20.1	176	11.4
<b>その他地域</b>								
中南米	2,262	46.1	1,625	1.0	2,187	▲ 6.8	2,079	17.4
中近東	1,363	▲ 7.3	1,409	▲ 10.5	1,814	▲ 12.2	1,653	▲ 5.9
大洋州	1,448	11.6	1,179	15.4	1,368	24.6	1,258	3.9
ロシア東欧等	977	▲ 2.6	923	12.6	1,130	19.7	1,111	12.6
アフリカ	474	▲ 9.0	539	15.9	529	0.7	465	▲ 0.6

▲は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)





(4)業種別動向～21業種中20業種がプラス。うち産業機械等15業種が二桁の増加～

1)業種別では、鉄道車両(6.0%減)を除く20業種がプラスとなり、前月に比べて1業種増加した。そのうち、産業機械(14.0%増)、重電気機械(14.6%増)をはじめ15業種が二桁の伸びとなり、機械全体で11.4%増となった。

2)リーマンショック前の水準を超えたのは鉄道車両、航空機部品、軽機械、ベアリング、医療機械、産業機械、光学機械、農業機械の8業種となった(9月は9業種)。他方、電子計算機、民生用電子機械が30%台の低い水準にある。

図表11 上位21業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

2017/8				2017/9				2017/10				対07/10 比
業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	
自動車	13,401	16.2	33.8	自動車	15,563	6.5	35.5	自動車	15,438	7.1	35.9	0.84
産業機械	7,301	14.2	18.4	産業機械	7,635	14.4	17.4	産業機械	7,628	14.0	17.7	1.06
電子デバイス	3,512	19.2	8.8	電子デバイス	3,540	12.2	8.1	電子デバイス	3,446	9.0	8.0	0.75
軽電気機械	2,102	12.9	5.3	軽電気機械	2,352	14.0	5.4	軽電気機械	2,200	8.5	5.1	0.84
重電気機械	2,002	19.0	5.0	重電気機械	2,291	22.1	5.2	重電気機械	2,154	14.6	5.0	0.98
軽機械	1,646	16.3	4.1	軽機械	1,740	11.5	4.0	軽機械	1,691	10.7	3.9	1.21
船舶	1,046	5.8	2.6	民生用電子機械	1,562	10.4	3.6	民生用電子機械	1,503	6.8	3.5	0.35
民生用電子機械	1,441	7.8	3.6	光学機械	1,386	8.4	3.2	光学機械	1,383	11.8	3.2	1.02
光学機械	1,438	32.6	3.6	建設機械	1,258	39.2	2.9	建設機械	1,176	38.7	2.7	0.87
建設機械	952	23.5	2.4	船舶	1,221	▲13.7	2.8	船舶	1,156	14.3	2.7	0.62
工作機械	793	44.1	2.0	工作機械	771	19.9	1.8	工作機械	750	35.4	1.7	0.85
航空機部品	663	5.9	1.7	通信機械	761	23.3	1.7	通信機械	738	20.2	1.7	0.75
通信機械	631	17.7	1.6	航空機部品	702	0.3	1.6	航空機部品	720	5.7	1.7	1.61
電子計算機	479	22.6	1.2	電子計算機	508	10.7	1.2	医療機械	489	14.4	1.1	1.18
医療機械	418	8.1	1.1	医療機械	507	12.6	1.2	電子計算機	471	15.1	1.1	0.35
ベアリング	388	21.6	1.0	ベアリング	432	17.2	1.0	ベアリング	425	17.6	1.0	1.19
陸用内燃機関	359	22.1	0.9	陸用内燃機関	398	17.4	0.9	陸用内燃機関	390	25.1	0.9	0.93
繊維機械	210	41.6	0.5	繊維機械	210	19.5	0.5	繊維機械	234	33.9	0.5	0.84
農業機械	171	29.0	0.4	農業機械	201	33.2	0.5	農業機械	196	12.3	0.5	1.02
産業車両	108	10.1	0.3	産業車両	128	27.7	0.3	産業車両	123	10.4	0.3	0.55
鉄道車両	67	▲26.0	0.2	鉄道車両	97	▲17.6	0.2	鉄道車両	113	▲6.0	0.3	1.66
21業種合計	39,128		98.6	21業種合計	43,262		98.6	21業種合計	42,423		98.5	0.83

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・産業機械:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン  
 ・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品 ・電子計算機:パソコン、HDD・プリンター等部品 ・軽機械:試験・検査機、理化学用機器  
 ・軽電気機械:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品  
 ・通信機械:通信機械部分品、受信変換・その他送受信機器

(5)機種別動向～通信機械部分品、電池等が大幅増、発電機等が大幅減～

1)10%以上の伸び率を示した機種のうち上位10機種は、①中国、ASEAN・南アジア向け**通信機械部分品**(42.8%増)、②中国向け**電池**(40.3%増)、③北米、その他地域、EU向け**建設機械**(38.7%増)、④中国、北米、EU向け**工作機械**(35.4%増)、⑤中国、北米、EU向け**産業用ロボット**(34.4%増)、⑥中国、ASEAN・南アジア向け**繊維機械**(33.9%増)、⑦韓国・台湾、中国向け**半導体製造装置**(29.5%増)、⑧北米、中国向け**陸用内燃機関**(25.1%増)、⑨中国向け**ベアリング**(17.6%増)、⑩中国向け**バルブ・コック**(16.2%増)であった。

2)一方、最も落ち込み幅が大きいのが、発電機(27.0%減)、原動力機械(17.6%減)であった。

図表12. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内)

(単位:億円、%)

2017/8			2017/9			2017/10		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
産業用ロボット	193	63.5	産業用ロボット	221	52.7	通信機械部分品	427	42.8
発電機	80	47.4	通信機械部分品	420	45.6	電池	271	40.3
工作機械	793	44.1	建設機械	1,258	39.2	建設機械	1,176	38.7
繊維機械	210	41.6	磁気カード・ディスク等	161	34.6	工作機械	750	35.4
電池	265	38.5	農業機械	201	33.2	産業用ロボット	234	34.4
その他の光学機器	1,240	33.3	その他の重電気機器・部分品	549	32.9	繊維機械	234	33.9
TV	111	32.0	電動機	188	32.8	半導体製造装置	2,096	29.5
農業機械	171	29.0	電池	258	32.5	陸用内燃機関	390	25.1
電動機	161	27.8	産業車両	128	27.7	ベアリング	425	17.6
通信機械部分品	350	27.3	原動力機械	483	27.4	バルブ・コック	450	16.2
機種合計	3,574	*9.0%	機種合計	3,867	*8.8%	機種合計	6,453	*15.0%

は、2ヶ月連続で上位機種 \* 機種合計の%は輸出額に占める割合

通信機械部分品:ゲートウェイ、ルーター等 受信変換・その他送受信:ルーター、LANスイッチ等ネットワーク関連機器  
 理化学用機器:物理・化学分析用機器の部品、電気式分析機器等 電動機:業務用モーター  
 その他の光学機器:レーザー、半導体検査装置等 その他の重電気機器・部分品:重電機器部分品、交通管制用機器

図表13. マイナス伸び率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内)

(単位:億円、%)

2017/8			2017/9			2017/10		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
鉄道車両	67	▲ 26.0	鉄道車両	97	▲ 17.6	発電機	50	▲ 27.0
機種合計	67	* 0.2%	船舶	1,221	▲ 13.7	原動力機械	327	▲ 17.6
			機種合計	1,318	* 3.0%	機種合計	377	* 0.9%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 \* 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6) 機械輸入動向～携帯電話、電子デバイス、電子計算機等が大きくプラス～

- 1) 10月の機械輸入伸び率は12.3%増と8ヶ月連続でプラスとなり、上位12機種のうち11機種がプラスとなった。そのうち携帯電話(11.8%増)、電子デバイス(24.1%増)をはじめ、7機種が二桁のプラスであった。上位12機種のうち、マイナスとなったのは、航空機・部品等(10.2%減)の1機種であった。
- 2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は金額順に携帯電話、電子計算機、航空機・部品等、医療機械、白物家電、配電機器、受信変換・その他送受信機器、時計、TVの9機種となっている。
- 3) 地域別機械輸入額は、全体の41%を占める中国(10.7%増)、ASEAN・南アジア(23.1%増)、EU(11.7%増)、北米(6.4%減)、韓国・台湾(21.0%増)、その他地域(33.9%増)の順であった。

図表14. 機械輸入額上位12機種

(単位:億円、%)

2017/8				2017/9				2017/10			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	2,367	18.3	12.4	電子デバイス	2,462	14.6	11.8	携帯電話	2,695	11.8	12.6
電子計算機	1,789	25.9	9.4	電子計算機	1,908	22.3	9.2	電子デバイス	2,474	24.1	11.6
通信機械部分品	1,593	2.2	8.4	携帯電話	1,684	▲ 34.5	8.1	電子計算機	1,813	15.6	8.5
乗用車	1,172	19.2	6.2	航空機・部品等	1,245	17.9	6.0	自動車部品	1,261	9.1	5.9
自動車部品	1,134	10.9	6.0	自動車部品	1,218	9.8	5.9	乗用車	1,052	13.3	4.9
航空機・部品等	932	▲ 6.5	4.9	乗用車	1,067	13.5	5.1	航空機・部品等	994	▲ 10.2	4.6
医療機械	656	3.0	3.4	医療機械	683	7.4	3.3	医療機械	682	12.0	3.2
白物家電	645	3.5	3.4	白物家電	593	13.6	2.9	白物家電	653	7.5	3.1
受信変換その他送受信	582	20.4	3.1	受信変換その他送受信	569	21.4	2.7	配電機器	615	22.8	2.9
配電機器	562	11.3	2.9	配電機器	552	13.4	2.7	受信変換その他送受信	549	5.3	2.6
携帯電話	538	▲ 21.3	2.8	その他の配電制御装置	430	14.1	2.1	その他の配電制御装置	413	9.0	1.9
その他の配電制御装置	422	9.4	2.2	原動力機械	394	70.1	1.9	コンデンサー等部分品	389	11.3	1.8
12機種合計	12,392		65.0	12機種合計	12,805		61.6	12機種合計	13,590		63.5

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電:民生用電気機械

・受信変換その他送受信機器:ネットワーク関連機器 ・その他の配電制御装置:スイッチ、配電盤、制御盤等